

リリムジカ=心に響く音楽。読むだけで音楽レクと音楽療法の知識が身につく記事を毎月無料でお届けしています。

ピアノの先生だった方と音楽を楽しむ

昔ピアノの先生をされていた三芳さん（80代女性・仮名）は、音楽のときは必ず皆様の前に立って歌います。一見楽しそうに参加している三芳さんですが、「東京音頭」で誰かが太鼓を叩くと決まって声を荒げました。「その太鼓やめてちょうだい！そんな音を出すなんて、馬鹿馬鹿しいわよ！」施設の職員さんは「三芳さんが太鼓も楽しめるの良いのですが・・・」と仰いました。三芳さんはなぜ太鼓を嫌がるのだろう？ファシリテーター（FT）は考えました。音楽のプロである三芳さん。「むやみに太鼓の音が入ると音楽性を損なう」と考えているのかもしれませんが。

次の回の音楽で、FTは三芳さんに声をかけました。「歌っているときの太鼓の音は、たしかに合わないですね。ただ、東京音頭はお祭りの曲なので太鼓があると盛り上がるかな、と思います。いかがでしょうか？」三芳さんはすかさず「いいわよ」とおっしゃり、太鼓を持たれました。「東京音頭」が始まると、リズムカルに太鼓を叩きました。また次の回の音楽で、FTは太鼓に関して三芳さんに声をかけました。すると今度は職員さんに向かって「あなたが叩いてちょうだい」と仰り、太鼓を渡されました。職員さんは「三芳さんから太鼓を渡していただけたとは思いませんでした。楽しめるようになって良かったです」と仰いました。

読者からのQ&Aコーナー

音楽レクで使う曲がいつも同じです。新しい曲はどうやって仕入れたら良いですか？

繰り返し音楽レクを行っている、「前もこの曲歌ったな」と思うことがあります。自分自身がマンネリを感じると、ご参加者と一緒に楽しむことは難しくなります。とはいえ思いつきで新しい曲を取り入れても皆さんで楽しめるとは限りません。では、新しい曲はどうやって仕入れたら良いのでしょうか。解決策の一つが、ご参加者に直接聴くことです。たとえば美空ひばりさんの曲で反応が良かった方がいたとします。そうしたら歌集やカラオケの本で美空ひばりさんの他の曲を探します。そして、「美空ひばりさんの〇〇は好きですか？」と聞いてみるのです。「美空ひばりさんの歌で好きな曲はありますか？」という質問だと答えるのが難しい方でも、具体的な質問には答えやすいです。参加者さんへの質問、ぜひ実践してみてください。

うさ子の奮闘記 第11話

「4つのお約束③」 作：うめ子

